

自見先生からのご寄稿いただきました

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



いつも大変お世話になってお

ります。新型コロナウイルス感

染症を巡っては、国内の感染状

況がひとまず落ち着いており、

人々の生活も徐々に日常を取り

戻しつつありますが、オミクロ

ン株の出現などまだまだ気を抜

けない情勢です。

十二月六日に臨時国会が開会

し、コロナ禍での経済対策等を

盛り込んだ補正予算の審議が始

まることにも、二〇二二年度診

療報酬改定の改定率を巡る議論

も行われました。十二月三日に

財務省の財政制度等審議会が鈴

木俊一財務大臣にマイナス改定

を建議するなど、財政当局は非

常に厳しい姿勢です。医療機関

の経営状況は、コロナ関連の補

助金や特例的措置を除けば赤字

であり、恒常的に安定した医療

提供体制を維持するには、プラ

ス改定が必要です。十二月七日

に開催された、「国民医療を守

る議員の会（加藤勝信会長）

には百九十人を超える自民党国

会議員が出席し、大幅なプラス

改定を政府に求める提言書を取

りまとめ、十二月八日に岸田文

雄内閣総理大臣と鈴木財務大臣

に手交しました。

結果的に、十二月十九日の岸

田総理、後藤茂之厚生労働大臣、

鈴木財務大臣の協議により、本

体改定率が〇・四三%増と決ま

りました。また、令和三年度補

正予算も十二月二十日に成立し

ました。多大なお力添えを賜っ

た日本医師連盟の先生方に、深

く感謝申し上げます。

全国各地の医師連盟の先生方

からも、意見交換の機会を積極

的に設けてくださっていること

に、この場をお借りして深く感

謝申し上げます。衆議院議員選

挙後、岩手県、茨城県、栃木県、

神奈川県、愛知県、大阪府、福

岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島

県、沖縄県を訪問させていただきました。

（二〇二二年十二月二十日時

点）、講演や懇談の機会を頂戴

しました。

コロナ禍においても、オンラ

イン等を活用して多くの先生方

から各地域の現場のお声を聞か

せていただいておりますが、

やはり直接訪問させていた

だき、対面でお話しすることが最

良だと実感しております。

コロナ対策をはじめ、高齢化

や医師偏在、子ども子育て政策

など、地域ごとにさまざまな課

題があります。医療現場からの

多様なお声を国政に届けるた

め、これからも精力的に全国を

回り、先生方と意見交換等させ

ていただきたいと思います。本

稿を読んでくださっている先生

方と直接お会いできる日を楽し

みにしております。

HPVワクチンの積極的勧奨

再開が決定

これまで、「HPVワクチン

の積極的勧奨再開を目指す議員

連盟」として、厚生労働大臣や

内閣官房長官への要望申し入れ

を繰り返し行っており、

が、この度、大きな進展があり

ました。

十一月十二日に開催された厚

生科学審議会（予防接種・ワク

チン分科会 副反応検討部会）

において、積極的勧奨の差し控

えを終了させることが妥当との

結論が出たほか、ワクチン接種

後の有害事象に関して大学病院

など協力医療機関向けの研修の

充実や、地域医療や学校を巻き

込んだ相談体制の強化を進める

方針が示されました。その後、

十一月十五日開催の厚生科学審

議会（予防接種・ワクチン分科

会）では、積極的勧奨の中止期

間中に接種機会を逃してしまっ

た世代へのいわゆる「ギャッチ

アップ接種」の支援についても

議論が開始されることとなりま

した。

そして十一月二十六

日、厚生労働省から自治体宛に

「HPVワクチンの積極的勧奨

の差し控えを終了する」旨の通

知が発出されました。二〇二二

年四月から積極的勧奨が順次実

施されることとなりますが、そ

れよりも早く準備が整った自治

体では、先行して実施してもよ

いことになっていきます。

二〇一三年の積極的勧奨停止

から八年間、平坦な道のりでは

ありませんでしたが、ようやく

ここに至ることができました。

これまでご尽力賜った先生方に

深く感謝申し上げます。今後は

9価ワクチンの定期接種化や男

性も定期接種の対象とすること

などにも引き続き取り組んで参

りますので、今後ともご指導

ご鞭撻賜りますようお願い申し

上げます。

東京栄養サミット公式サイト

イベント

十一月三十日、東京栄養サミ

ット2021の公式サイドイベ

ントとして、味の素株式会社と

オランダの総合化学企業DSM

の共催で、オンラインフォーラ

ム「学校給食と子ども達の未来

〜官民連携で実現する、サステ

ナブルで健康的な食習慣づく

り」が開催され、西井孝明味の

素社長、ディミトリ・ドゥ・フ

リースDSM共同CEO、カル

メン・バルバノWFP学校給食

部門ディレクターらとともにパ

ネリストとして参加させていた

だきました。

栄養サミットとは、二〇二二

年のロンドンオリンピック・パ

ラリンピック競技大会の際に、

世界的なスポーツの祭典を契機

として地球規模で栄養課題につ

いて考え、取り組むため開始さ

れ、以後オリンピック・パリリ

ンピックの開催に合わせて、そ

の開催都市で行われています。

私からは、日本の学校給食の

歴史を紹介しつつ、成育基本法

に基づいて本年二月に閣議決定

された基本方針に食育の推進も



11月8日 長崎大学BSL-4施設視察・長崎県医師会訪問



11月3日 大阪府医師会創立74周年記念式典



11月15日 神奈川県内医療機関訪問



11月13日 沖縄県で開催された九州医師会連合会総会



11月20日 愛知県医師会訪問・日本小児医学教育研究会で講演



11月29日 茨城県内医療機関訪問

十月の衆議院議員選挙の際

は、自民党女性局長として全国

を回らせていただき、各都道府

県・市区町村の医師連盟の先生

方に大変お世話になりました。重ねて御礼申し上げます。

衆議院議員選挙が終わり、い

よいよ来年七月の参議院議員選

挙が迫って参りました。二〇二〇年九月に日本医師連盟から推薦決定をいただき、医療界代表として臨む重責を強く感じてお

ります。



11月30日 東京栄養サミット公式サイドイベントにて



12月2日 UHCセンター設立について岸田文雄内閣総理大臣に提言



12月4日 鹿児島県医師会訪問・鹿児島大学病院坂本泰二病院長との意見交換



12月19日 岩手県での周産期医療に関する勉強会・医療機関訪問



12月6日 栃木県医師会での国政報告会